

北光

第 136 号

平成18年11月22日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉱山専門学校
秋田大学鉱山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年（1911年）に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、平成23年（2011年）に創立100周年を迎えることになります。

目 次

総会のご案内	色紙
「平成19年版北光会会員名簿」の作成とアンケートの実施について	色紙
巻頭言 大学支部が新設されました	及 川 洋 1
会長便り 台湾総会の成功を	菊 地 芳 朗 2
秋田大学工学資源学部創立100周年記念会	
役員名簿	3
記念事業実施体制	山 田 悦 郎 5
募金委員会組織図・募金委員会委員名簿	6
寄附者御芳名	9
平成18年度 第1回北光会支部長会報告	17
平成18年度秋田大学関西セミナー開催さる	石 川 浩 次 18
オープンキャンパス 学生の声	19
寄稿 深海底ボーリングで世界記録達成	細 井 義 孝 25
台湾北光会に寄せて	金 子 浩 27
中国支部事務局 田中隆夫氏 故郷でマンドリン演奏会	27
北から南から ー支部・クラス会だよりー	28
会員だより・母校だより	34
大学説明会について	濱 田 文 男 35
台湾旅行に参加し、平成19年度総会を成功させよう！	36
事務局から	39
計 報	39
編 集 後 記	40

会費納入のご協力をお願いします：このところ北光会会費の納入率の低下が目立っております。特に、若い会員のご協力ををお願いします。

平成19年度北光会総会（台湾開催）のご案内

会 員 各 位

平成18年11月吉日

北光会会長 菊 地 芳 朗

平成19年度北光会通常総会・記念講演会・懇親会および総会直前の理事会を平成19年5月27日（日）に、下記の通り台湾・台北市の福華大飯店（Howard Plaza Taipei）で開催いたします。

初めての海外での開催であり台湾旅行を兼ねておりますので、この機会に皆様お誘い合せの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、旅行日程は平成19年5月26日（土）～5月30日（水）となります。

記

	期 日：平成19年5月27日（日）
	会 場：台北市福華大飯店（Howard Plaza Taipei）
理 事 会	時 間：午後1時～2時
通 常 総 会	時 間：午後2時10分～3時10分
	議 題：（1）会長選挙の件 （2）学部創立100周年の件 （3）その他
	顕彰式
学部の現状報告	時 間：午後3時10分～3時40分 吉村 昇（ES42）工学資源学部長
記念講演会	時 間：午後3時50分～4時50分 講 師：台湾北光会会員 簡 芳欽（BS40） 演 題：台湾の鉱山史（仮題）
懇 親 会	時 間：午後5時～7時 会 費：8,000円（当日受付で日本円でいただきます）

上記総会など、及び台湾旅行に参加される方は平成19年1月31日（水）までに「北光」第136号に同封したハガキでお申し込み下さい。御参加の方には後日詳細のご案内をいたします。詳しくは本誌36～38ページをご覧ください。

<問い合わせ先>

© 北光会事務局 TEL 018-835-9822 018-889-2317
FAX 018-835-9822
E-mail: info@hokkokai.com

平成18年度北光会東京支部総会，理事会のご案内

平成18年度北光会東京支部総会及び理事会を下記のように開催いたしますので，万障お繰り合わせの上，ご参加下さい。

平成18年11月

北光会東京支部 支部長 高橋 壽夫 (MS35)

●総 会

1. 平成18年12月9日(土) 14:40～16:20
2. 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーション・センター 1階「国際会議室」
☎ 03-5441-4530 (北光会東京支部の電話です)
3. 議 案
 - (1) 北光会総会報告
 - (2) 支部会務及び事業報告
 - (3) 支部会計報告
 - (4) 支部役員改選について
 - (5) 秋田大学の東京における事業報告
 - (6) 100周年記念募金の件
 - (7) 平成19年度北光会総会(台湾)について
 - (8) その他
4. 学部近況報告 吉村 昇 工学資源学部長

●懇 親 会

16:30～18:30

会 場 建築会館地下居酒屋「庄屋三田店」港区芝5-26-20 ☎ 03-3452-5434

会 費 5,000円(当日いただきます。)

●理 事 会

1. 平成18年12月9日(土) 13:00～14:30
2. 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーション・センター 1階「国際会議室」
3. 議 案 上記(1)～(8)の議案(東京支部理事には別にお知らせいたします。)

●出 欠 返 事

「北光」はさみこみハガキで，12月4日(月)までにお寄せ下さい。

連絡先：北光会東京支部長 高橋壽夫 TEL・FAX 03-5441-4530

平成18年度北光会中国支部総会兼広島部会総会，懇親会のご案内

日 時：平成18年12月17日(日)

理事会 14:00～14:50(広島部会役員出席可) 総 会 15:00～15:30

懇親会 15:40～18:00

場 所：ワークピア広島(JR広島駅南口から南へ徒歩7分)

会 費：8,000円

連絡先：北光会中国支部事務局 田中隆夫(GS42)

広島県東広島市八本松町正力44-102

TEL・FAX 082-428-6307

平成18年度北光会東北支部総会と 新年会のご案内

日 時：平成19年1月27日(土)

総 会 17:00～ 新年会 17:30～

場 所：仙台ホテル(JR仙台駅西口前)

会 費：男性 7,000円 女性 3,500円

参加申し込み：平成19年1月20日(土)まで。

連絡先：北光会東北支部事務局 八柳 紀一(ES39)

仙台市太白区大町6-27 TEL・FAX 022-246-0580



大学支部が新設されました

大学支部長（S47年土木工学科卒，土木環境工学科教授） 及 川 洋



本年6月の北光会総会において定款が改定され、北光会の新たな支部として「大学支部」が新設されました。大学に勤務する北光会員はこれまでは秋田支部に所属しながらも、学内に「学内北光会」という集まりを組

織し、北光会本部の事務局長や庶務、会計などを担当するとともに、情報収集管理機材としての北光会のコンピュータの維持・管理や、機関誌「北光」の制作・発行など、北光会本部そのものの活動を実施してきました。しかし、これからは他支部と同様、本部から独立した一支部として活動を開始するところになります。とは言え、支部として具体的な活動内容が決まっているわけではなく、筋道逆転の上での店開きということになりますが、初代支部長として、北光会および工学資源学部発展のために幾らかでも役に立てればと思っております。

大学支部の構成メンバーは、学内に勤務するいわゆる北光会正会員に加え、これまでは賛助会員としてご協力頂いてきた学部在職する全教職員、および学生会員として学部および大学院に在籍する学生全員、そして海外に在住する北光会員の4種類の会員の集合体となります。他支部は殆どが正会員の集まりであるのに対し、大学支部は多民族集団ということになります。はたして本当にまとめて行けるのか、おおいに不安なところです。

さて、上記したように、学部の教職員はこれまでは賛助会員として、名前だけの形式的な会員でした。しかし、今回の定款改定では賛助会員を特別会員に改め、教職員も北光会により積極的に参加し易い環境を整えました。これは、母校のさらなる発展のためには教職員および同窓生が一丸となる必要があるとの認識に立ったものと考えられ、すでに何人かの教職員もこれに理解を示し、協力の意志も示してくれていま

す。しかし、会費納入の件も含め、事が一方的に決められた感があるためか、多くの教職員から疑問や不満の声が上がっているのも事実です。支部としてまとまるまでには多少の時間を必要とする状況です。

在学生は正式な意味での同窓生ではありませんが、古くから学生会員として入会して貰っています。もちろん、ほぼ全員から入会金も納入して貰っています。しかし、在学中の4年間、在学生が北光会と係わりを持つことは全く無いといっても過言ではなく、そのためか、北光会に対する関心も全く無いようです。例えば、北光会は年3回、機関誌である「北光」を発行し、学生にも配布しています。しかし、配布後の学生がいなくなった教室をみると、机の中に多量の「北光」が散乱していることは珍しいことではありません。時には廊下のゴミ箱にも入っています。学生にとっては読んでも面白くない冊子であることには間違いなく、携帯電話の画面の方がずっと面白いことは理解できます。同窓会に対する学生のこのような無関心さは一般的には当たり前のことで、関心を持つ学生の方がむしろ異常かも知れませんが、せめて自宅やアパートに持ち帰り、保管するくらいの意識を持つような環境を作り出すこと、そのための学生と一緒にした同窓会イベントの企画や、例えば「北光」の中に学生のページを新設するなど、学生と一緒にした支部活動には事欠かないのではないかと楽観しています。

海外在住の北光会員の数は正式には掴んでおりませんが、結構な数に上るものと思われます。邦人はもちろんのこと、中国や台湾出身の北光会員も数多く活躍しています。このような海外在住の北光会員にどのようなサービスができるかは、大学支部としての今後の大きな検討課題の一つです。

以上、生まれたばかりの大学支部の現状を記しましたが、独り立ち出来るまでにはもう少し時間がかかりそうです。

台湾総会の成功を

菊 地 芳 朗 (GS34)



今年の夏は猛暑と台風による災害の多い夏でした。会員の皆様方は如何でしたでしょうか。被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。

今回は主に三つのことについてお伝えしたいと思

います。

一つは、創立100周年記念事業のことです。すでに皆様には趣意書が送られ、また「北光」第135号は設立特集号でしたのでご存じのことと思います。去る7月1日より募金活動を始め、9月1日には第一回募金委員会（専門委員会）を開催しました。多くの会員の皆様方より暖かいご芳志を頂き、10月20日現在、約1,000名の方々より3,000万円余りを頂いております。ご寄付を頂いた方々には厚く御礼申し上げます。募金期間は平成23年9月30日迄となっておりますので宜しくお願いいたします。

一方、企業を対象とした募金活動は、現在学部内で手続きを行っており新年早々の募金開始となる見込みであります。企業の募金についても会員の皆様方にお世話になることと存じますが、その節は宜しくお願い申し上げます。

二番目は、表題の台湾総会のことであります。このことにつきましては既に述べておりますが、昨年訪台した折、台湾北光会会長の張來銓さんより台湾での北光会総会が提案されました。特に張さんからは、秋田鉾山専門学校時代の卒業生はご高齢になられているので出来るだけ早く行って頂きたいとのことでした。私にもお話の内容は良く理解できました。台湾北光会からは創立50周年や70周年記念事業でご協力を頂いております。また多くの会員が台湾を訪問しお世話になっております。私としても是非実

現したいと思い、本年3月の理事会と6月の総会に提案いたしご承認を得た次第です。

今回の「北光」に総会の会次第と共に、台湾旅行ツアーを企画し、その案内を掲載させて頂きました。名誉会員の徳田前学長、吉村学部長を始めとして、北光会役員・各支部長・事務局は勿論参加を予定しております。ご家族や知人などの参加も歓迎いたしますので、皆様方のご参加をお待ちしております。

三番目は大学評価であります。このことも先の「会長便り」で述べておりますが、今年も文部科学省から平成17年度の評価結果が発表されました。母校は昨年と同様全体としては「順調に進んでいる」または「おおむね順調に進んでいる」との評価を受けております。しかしながら昨年と同じく大学院博士課程の充足率が85%に達していないことが指摘されました。工学資源学部の今年度の博士後期課程への入学状況は定員16名に対し17名で、先生方のご協力により徐々に改善されてきておりますが、全体では77%であります。充足率の問題は大学評価にとって大変重要なことです。この度の創立100周年の「学術支援基金の創設」は、このことを支援するためのものです。宜しくお願いいたします。

その他には定款の改正に伴い、幾つかの支部では支部規程を新たに作り、支部活動の活性化に努めております。大変喜ばしいことと思います。

今後とも会員皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

台湾総会を成功させよう!!

秋田大学工学資源学部創立100周年記念会

(平成18年6月1日現在)

【役員名簿】

会 長

徳 田 弘 前秋田大学長・秋田大学名誉教授

副 会 長 (会長職務代行者)

吉 村 昇 工学資源学部長

副 会 長

川 上 洵 前工学資源学部長
秋田大学教育研究評議会評議員

菊 地 芳 朗 北光会会長

丸 山 孝 彦 記念会企画調整委員会委員・
前北光会事務局長・鉱業博物館長

顧 問

寺 田 典 城 秋田県知事

佐 竹 敬 久 秋田市長

三 浦 亮 秋田大学長

木 村 誓 元鉱山学部長・秋田大学名誉教授

能 登 文 敏 元鉱山学部長・秋田大学名誉教授

大 塚 一 雄 元鉱山学部長・秋田大学名誉教授

牧 野 和 孝 元工学資源学部長・元秋田大学副学長・
秋田大学名誉教授

狩 野 豊太郎 元北光会会長

秋 山 元 雄 元北光会会長

森 泰 前北光会会長

常任理事

佐 藤 暢 男 工学資源学部通信教育協会会長・
秋田魁新報社代表取締役社長

小 野 塚 弘 工学資源学部産学官連携推進協議会会長・
東北電力株式会社執行役員秋田支店長

鎌 田 孫 作 北光会副会長・北光会秋田支部長

二 木 亮 北光会副会長

山 田 悦 郎 北光会副会長・秋田大学名誉教授

津 谷 聡 工学資源学部後援会会長

石 尾 俊 二 秋田大学副学長

小 沢 泉太郎 工学資源学部副学部長・
秋田大学教育研究評議会評議員

菅 井 幹 夫 北光会事務局長・環境物質工学科長

中 田 真 一 記念会企画調整委員会委員・
環境資源学研究センター教授

佐 藤 時 幸 記念会企画調整委員会委員・
地球資源学科教授

笹 本 達 見 工学資源学部事務長

理 事

西 村 哲 男 秋田県副知事

島 田 昌 彦 秋田工業高等専門学校長

齋 藤 正 寧 秋田県町村会会長

村 岡 淑 郎 秋田県商工会連合会会長

渡 邊 靖 彦 秋田県商工会議所連合会会長

中 西 大 和 秋田県産業技術総合研究センター所長

齋 藤 隆 日本精機株式会社代表取締役社長・
秋田大学科学技術協議会会長・
秋田県機械金属工業会会長

根津谷 禮 蔵 あきた企業活性化センター理事長

須 田 精 一 秋田県電子工業振興協議会会長

安 部 清 尊 秋田県鉱業会会長

寺 田 典 城 秋田県地下資源開発促進協議会会長

菅 原 三 朗 秋田県建設業協会会長

伊 藤 三 男 秋田県生コンクリート工業組合理事長

新 開 卓 秋田銀行取締役頭取

加賀谷 武 夫 北都銀行取締役頭取

青 木 清 児 東日本電信電話株式会社秋田支店長

大 西 清 文 帝国石油株式会社秋田鉱業所所長

中 村 元 石油資源開発株式会社秋田鉱業所所長

成 田 裕 一 北光会元事務局長・秋田大学名誉教授

渡 部 充 北光会元事務局長

小 池 一 男 北光会元事務局長・秋田大学名誉教授

石川洋平 北光会元事務局長・秋田大学名誉教授
菅原拓男 北光会元事務局長・環境物質工学科教授
千葉到 北光会北海道支部長
小坂金雄 北光会東北支部長
高橋壽夫 北光会東京支部長
加茂勝秋 北光会東海北陸支部長
石川浩次 北光会関西支部長
伊橋文夫 北光会中国支部長
姫野正彦 北光会四国支部長
中村靖 北光会九州支部長
及川洋 北光会秋田大学支部長・土木環境工学科教授
松田光浩 北光会北海道支部副支部長
村山四喜男 北光会秋田支部副支部長
田口昇 北光会秋田支部副支部長
乙坂博道 北光会東北支部副支部長
川口博靖 北光会東京支部副支部長
太田巖 北光会東京支部副支部長
今林敬之 北光会関西支部副支部長
金澤正澄 北光会四国支部副支部長
齊藤容 北光会九州支部副支部長
神谷修 北光会秋田大学支部副支部長・機械工学科教授
西山祥雄 北光会北海道支部事務局長
小松文雄 北光会秋田支部事務局長
八柳紀一 北光会東北支部事務局長
安西廣恭 北光会東海北陸支部事務局長
鈴木邦彦 北光会関西支部事務局長
田中隆夫 北光会中国支部事務局長
森直樹 北光会四国支部事務局長
瀬戸信吾 北光会九州支部事務局長
谷口敏幸 秋田大学前副学長
井上浩 秋田大学学長特別補佐
白石建雄 地球資源学科長
菅原茂夫 材料工学科長・機能物質工学専攻主任
三上健太郎 情報工学科長

上柿英二 機械工学科長
堀口誠二 電気電子工学科長
松富英夫 土木環境工学科長・地域防災力研究センター長
土岐仁 ものづくり創造工学センター長
佐藤博 資源学専攻主任
中村雅英 生産・建設工学専攻主任
佐藤忠 電気電子情報システム工学専攻主任
木村一裕 土木環境工学専攻主任
泰松齊 材料工学科教授
行松健一 情報工学科教授
渋谷嗣 機械工学科教授

企画調整委員会委員長

吉村昇 工学資源学部長

募金委員会委員長

菊地芳朗 北光会会長

記念式典実行委員会委員長

渋谷嗣 企画調整委員会委員・機械工学科教授

記念誌編集委員会委員長

泰松齊 企画調整委員会委員・材料工学科教授

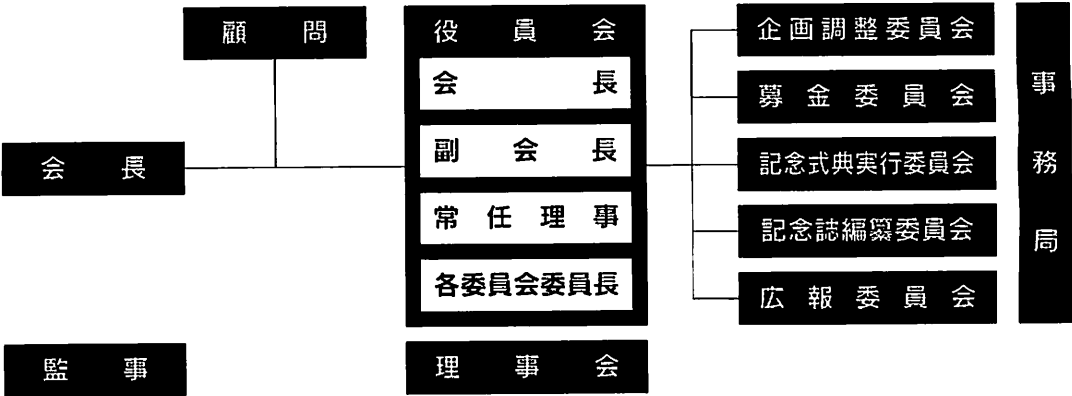
広報委員会委員長

行松健一 企画調整委員会委員・情報工学科教授

監事

秩父功一 丁酉会理事長・元工学資源学部事務長
鈴木雄悦 前工学資源学部事務長・前工学資源学部創立100周年記念会設立準備委員会委員

記念事業実施体制



記念事業実施体制と募金活動について

募金委員会副委員長 山田悦郎 (MS33)

全体の実施体制は記念会事業の実施体制の図に示されている通りです。この図の中で中核をなし、かつ最大の人数と活動年月を要するのは募金委員会であることは言うまでもありません。この重要な募金委員会の構成を活動方針などを考慮しながら検討の上、決定され承認されたものが募金委員会の組織図です。

委員は多数からなるため募金委員の全体会議は費用・時間などの点から開催はいたしません。委員のなすべき事項、方針等について、あらためて以下のようなご説明を申し上げます。

1. 前述のように、全体の会議は開催いたしません。委員の方針、動きなどは、学内委員に対しては学科長・センター長（専門委員）から教室会議などを通じて、また北光会員の委員に対しては支部長から十分な情報を流して頂くようにします。
2. 学内教員は自分の所属する学科の卒業生、特に研究室の卒業生に出来るだけ連絡をと

り、寄付を促すことを心がけて頂きます。現在、教員の構成も年々変わり、年齢層も若くなっていますので、対象とする卒業生は平成以降の方々になると思われます。

3. 北光会の役員は支部長と連絡を取りつつ、支部内の会員に「声かけ運動」を展開して頂きたいと考えています。また自分の勤務していた（いる）企業、ないしは、知り合いの企業情報を本部または支部長に連絡して下さることも重要な任務です。
4. 委員会の方針・運用状況などに関しては専門委員会で検討、決定しそれを各支部に連絡し、3月開催の理事会および6月開催の総会に適宜報告します。